

大学院（修士課程）

美術研究科 美術専攻 絵画研究分野（日本画） 研究指導スケジュールと研究指導概要

		研究指導スケジュール		研究指導概要
		日本画研究A	日本画研究B	(指導教員を中心にその都度指導を行う)
1年次	前期；自主制作 後期；自主制作	前期；古典模写 後期；自主制作		
4月	新入生オリエンテーション			大学院での履修全般、年間制作点数、講評・提出等スケジュールを説明する。
	指導教員と副指導教員を決定			指導教員は院生からの相談に助言する。
	年間を通した方向性を検討	古典模写の模本選択		指導教員とのディスカッションを通じて確認・助言する。
	履修計画・研究計画の作成・提出			指導教員とのディスカッションを通じて指導する。
				その上で日本画研究A・Bともに「研究指導計画書」に研究題目と研究計画を記入し、研究科長に提出する。
4～8月	作品制作の遂行	古典模写研究の遂行		適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
	(日本画材料技法演習の受講)			
前期終了時	講評			プレゼンテーションと意見交換等を行う。
	自主制作作品（3点）講評	古典模写（1点）講評		* 常勤教員1日、非常勤教員1日
9～1月	自主制作の遂行			適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
12月	(小林和作奨励賞の応募)			* 希望者が応募する。
後期終了時	講評			プレゼンテーションと意見交換等を行う。 * 常勤教員1日、非常勤教員1日
2年次	前期；自主制作 後期；修了制作	前期；修了古典模写 後期；修了制作		
4月	在学生オリエンテーション			大学院2年次での履修全般、年間制作点数、講評・提出等スケジュールを説明する。
	指導教員と副指導教員を決定			指導教員は院生からの相談に助言する。
	年間を通した方向性を検討	修了古典模写の模本選択		指導教員とのディスカッションを通じて確認・助言する。 * 絹本等特殊な素材を使用する場合、指導教員を通じて裏打ち講義の担当教員に相談すること。
	履修計画・研究計画の作成・提出			指導教員とのディスカッションを通じて指導する。
				その上で日本画研究A・Bともに「研究指導計画書」に研究題目と研究計画を記入し、研究科長に提出する。
4～8月	副論文指導			副論文執筆から提出までのスケジュール等を確認・指導する。
	作品制作の遂行	修了古典模写研究の遂行		適宜、進捗状況を確認し、意見交換、指導等を行う。
6月	進級制作展（大学美術館）			1年次の制作活動を展示やプレゼンテーションを含む講評によって振り返り、今後の制作の方向性等を再検討する。 * 事後に個別面談の機会を設定する。
前期終了時	講評			プレゼンテーションと意見交換等を行う。
	自主制作作品（3点）講評	修了古典模写（1点）講評		* 常勤教員1日、非常勤教員1日
9月	修了制作下図研究会			修了制作の下図（作品の縮小エスキース）により、制作に際しての方向性や注意点等を指導教員とのディスカッションを通じて指導する。
9～1月	修了制作の遂行			大下図、本画研究会の実施により進捗状況を確認し、プレゼンテーションと意見交換等を行う。
9～12月	副論文指導			進捗状況に応じて副論文の執筆を指導する。
12月	修了制作・修了模写の1次提出			所定の提出日（12月末頃）までに提出を求め、指導教員による審査を行う。
1月	修了制作・修了模写の最終提出			所定の提出日（1月中旬頃）までに提出を求め、指導教員による審査を行う。
	副論文提出			所定の提出日（1月下旬頃）までに提出を求め、美術理論担当教員及び指導教員が審査する。

2月	修了制作展（大学美術館）	作品展示、ギャラリートークに関して助言等を行う。
3月	修了判定 学位（修士）の授与	

* 2年間での修了のケースを示しています。